

## 社会実験について

### 社会実験の項目

#### マイ防災マップの作成 検証

(河川情報QRコードの掲示含む)

#### マイ防災マップを利用した防災訓練の実施 検証

(地区毎に整理をすべき防災情報(連絡網、災害時要援護者情報、防災資材備蓄情報等)の整理もあわせて実施 地区版防災計画の作成)

#### 捨てられないハザードマップの作成 検証

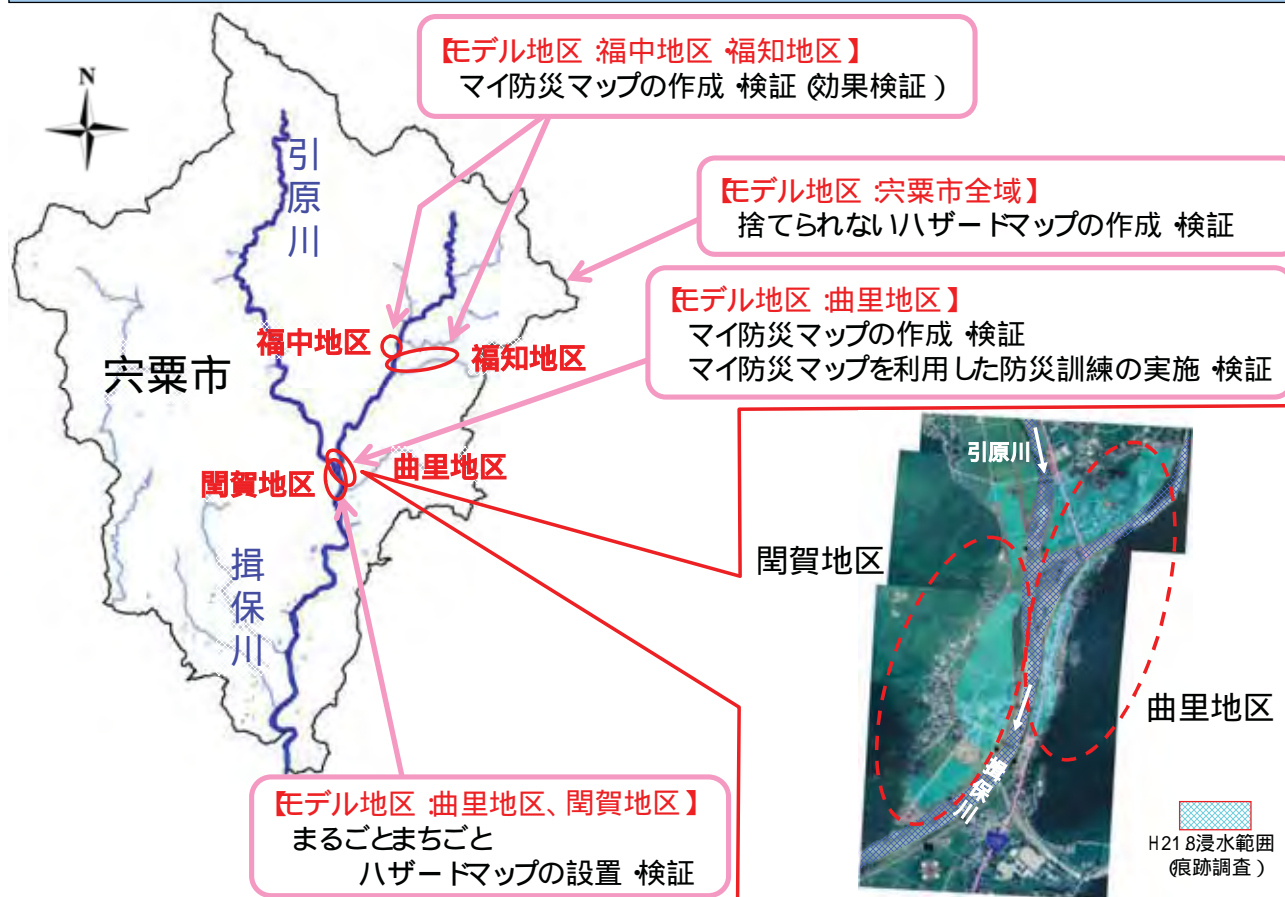
#### まるごとまちごとハザードマップの設置 検証

(過去の災害時の実績浸水深や避難場所への誘導を記載した標識の設置、河川情報QRコードの掲示含む)

## 社会実験実施箇所

社会実験項目	モデル地区	モデル地区の選定理由
マイ防災マップの作成・検証 (河川情報QRコードの掲示含む)	福中地区 福知地区	【マイ防災マップの効果検証】 H21.8台風第9号による被害が発生 台風第9号時に防災マップ作成済み
	曲里地区	【マイ防災マップの作成】 H21.8台風第9号による被害が発生 ・マイ防災マップ未作成
マイ防災マップを利用した 防災訓練の実施・検証 (地区版防災計画の作成含む)	曲里地区	H21.8台風第9号による被害が発生 社会実験でマイ防災マップを作成するモデル地区
捨てられない ハザードマップの作成・検証 (掲示板の活用、 河川情報QRコードの掲示含む)	宍粟市全域	H21.8台風第9号によって、市域全体で 被害が発生しており、自治体職員や地元 自治会においても防災意識が高く、社会 実験に前向き
まるごとまちごと ハザードマップの設置・検証 (河川情報QRコードの掲示含む)	曲里地区 間賀地区	H21.8台風第9号による被害が発生 実績の浸水深の設置や被災経験を考慮した 適切な設置箇所の検討が可能

## 社会実験実施箇所

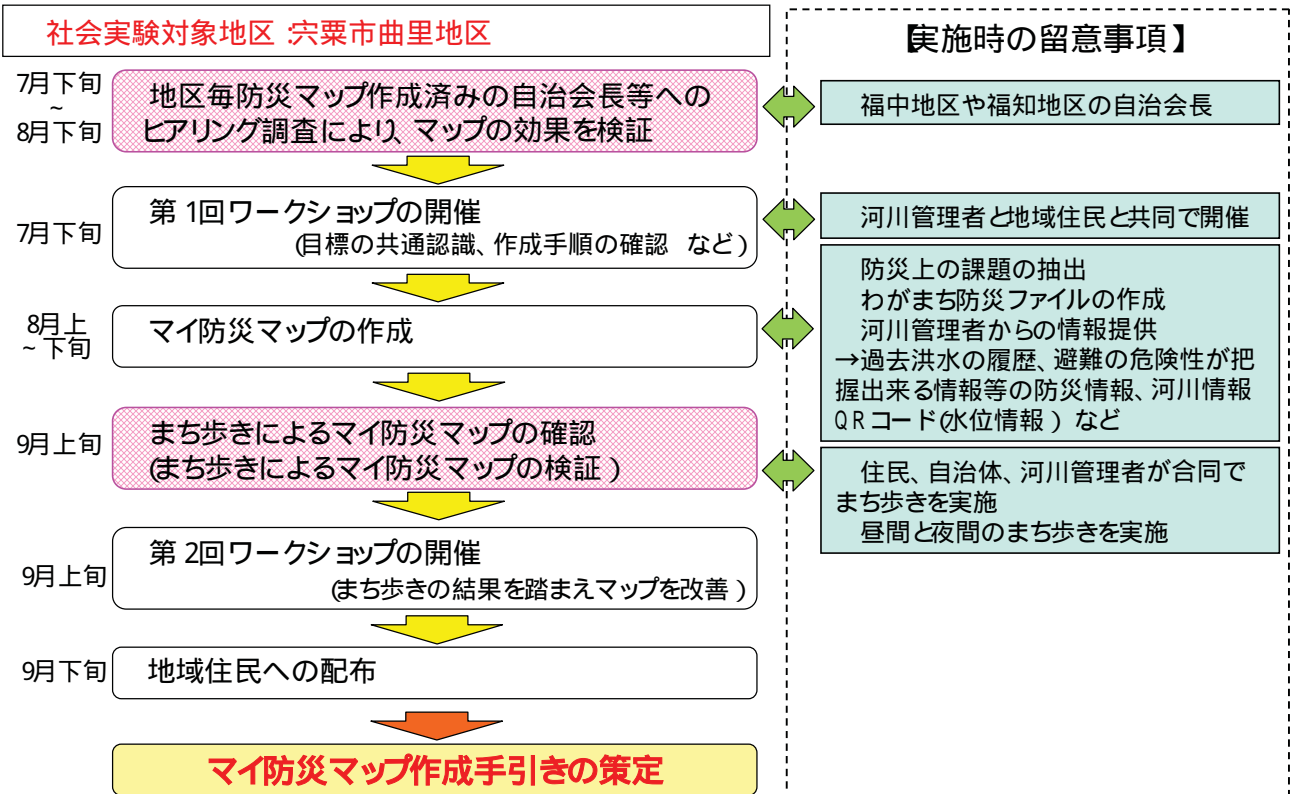


## 社会実験全体のスケジュール

項目	7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
社会実験			WS ●					WS ●																	
			検証					検証																	
社会実験																									
社会実験																									
社会実験																									
社会実験																									

## 社会実験 :マイ防災マップの作成・検証の手順

**【目的】**地区毎防災マップ(マイ防災マップ)の作成及びまち歩きを実施し、アンケート、ヒアリングを通じて、**マイ防災マップ作成の手法を検証し、マイ防災マップ作成手引きを作成**



## 社会実験 :マイ防災マップの作成 検証

### 1)自治会長等マイ防災マップ作成者へのヒアリングにより 防災マップの課題・効果を検証

検証内容 :ヒアリングにより 作成済みの地区毎防災マップの効果や改善点について分析 評価

検証方法 :

対象者 地区毎の防災マップ作成済みの一宮町の福中地区や福知地区の自治会長等

ヒアリング概要

H21.8台風9号時の防災マップの配布、活用状況

災害時に役立った防災マップの記載内容、追加すべきと必要と考える情報 等

アウトプット:

地区毎の防災マップの有効性  
より活用できるマップとするために、追加すべき情報 等



マイ防災マップ作成に反映

### 2)まち歩きによるマイ防災マップの検証

検証内容 :ヒアリングやアンケートにより まち歩きの有効性を把握 確認

(危険箇所の状況や避難所の場所・状況、避難経路の位置・安全性等の自己確認 等)

検証方法 :

対象者 :まち歩きに参加した住民(女性、高齢者、児童等)、市職員、河川管理者担当者

アンケート概要

・マイ防災マップを作成するにあたってのまち歩きの必要性、効果

まち歩きで新たに確認できたこと

より活用できるマイ防災マップとするためのまち歩きの工夫 等

アウトプット:

・マイ防災マップを作成するにあたってのまち歩きの有効性  
より有効な取り組みとするためのまち歩きの方法 等  
(高齢者や子供の参加 等)



マイ防災マップ作成手引きに反映

## 社会実験 :マイ防災マップを利用した防災訓練の実施 検証の手順

【目的】マイ防災マップを活用し、過去の出水データを基に情報伝達、避難判断等の実態に即した防災訓練等、有事の際の状態を身をもって体験 記憶してもらつ防災訓練を実施し、アンケートを通じて、**マイ防災マップおよびマイ防災マップを利用した防災訓練の効果を検証**

社会実験対象地区 :宍粟市曲里地区

8月~9月 シナリオの立案

9月下旬 マイ防災マップ全戸配布

10月中旬~11月下旬 防災訓練の実施

11月上旬~12月下旬 地域住民へのアンケートにより防災意識向上の効果を検証

第3回ワークショップ(WS)の開催(マイ防災マップの課題抽出・マイ防災マップの修正)

マイ防災マップを活用した効果的な防災訓練の提案

マイ防災マップ作成手引きの修正

### 実施時の留意事項】

H21.8洪水を踏まえ、宍粟市と河川管理者と共同で洪水警報発令から警報解除までのシナリオを立案

宍粟市が、しーたん通信、広報車、消防団等、災害・避難情報の伝達経路で、情報を伝達  
河川管理者はリアルタイム情報を提供  
住民はマイ防災マップを活用して避難所まで実際に避難する

河川管理者と地域住民(マップづくり参加者、避難誘導者、消防団)、宍粟市と共同でWSを開催  
防災に関する新たな課題、マイ防災マップの課題を抽出  
宍粟市が作成を促進している“わがまち防災ファイル”を活用し、防災訓練を踏まえ、地区毎に整理をすべき防災情報を整理し、地区版防災計画を作成

わがまち防災ファイルとは、連絡網、災害時要援護者情報、防災資材備蓄情報等自主防災組織が有効に活動できるように作成する資料

## 社会実験 :マイ防災マップを利用した防災訓練の実施 検証

1)マイ防災マップを活用した防災訓練によるマイ防災マップ及び、地域の防災総合力向上の効果等を検証

### 検証内容：

マイ防災マップを活用した防災訓練実施後、ヒアリングやアンケートにより、マイ防災マップの有効性およびマイ防災マップを活用した防災訓練による地域の防災総合力向上の効果を評価する

### 検証方法：

対象者 防災訓練に参加した住民（消防団等）、宍粟市職員、河川管理者

アンケート概要

避難時の危険箇所、自らが避難経路、避難所が把握できたか

実際の災害時にマイ防災マップを活用するか

避難の危険性が把握出来る防災情報（水位、流速等）情報は活用できる情報か

河川情報QRコードを使って、水位情報を確認したか

防災意識の向上に繋がったか 等

### アウトプット：

・マイ防災マップの有効性

避難の危険性が把握出来る情報（水位、流速等）、河川情報QRコードの有効性

防災意識向上に対してのマイ防災マップを活用した防災訓練の有効性 等

## 社会実験 捨てられないハザードマップの作成 検証の手順

【目的】たつの市住民アンケートにより「捨てられないハザードマップ」として得られた意見を活用したハザードマップを作成、配布し、アンケート等を通じ**有効性を検証**。ハザードマップの認識度を向上させるための施策として、**日常生活に密着し、捨てられないハザードマップの事例を提案**。また、ハザードマップに河川情報QRコードを掲載し、**有効性を検証**

### 検証する手法

「ごみの日カレンダーと一体となったハザードマップ」  
自治会の掲示板へのハザードマップの掲示」

社会実験対象地区：宍粟市全域

### 【実施時の留意事項】

宍粟市のごみの日カレンダーを考慮し、A2サイズ（A3折）のマップ作成  
表面をごみ収集予定表、ゴミの分別方法、裏面に地区毎のハザードマップを記載  
ハザードマップに河川情報QRコード（水位情報）を記載

7月下旬  
～8月下旬

ごみの日カレンダーと一体となったハザードマップの作成

9月上旬  
～中旬

ごみの日カレンダーと一体となったハザードマップの配布

9月上旬  
～中旬

自治会へのハザードマップの配布 掲示板に掲載

12月中旬  
～1月中旬

地域住民へのアンケートによりハザードマップの認識を高める効果、河川情報QRコードの効果を検証を検証

捨てられないハザードマップの事例の提案

## 社会実験 捨てられないハザードマップの作成 検証

### (1)ハザードマップの認識を高める取り組みの効果を検証

#### 検証内容：

日常生活に密着した捨てられないハザードマップを作成・配布し、アンケートにより、ハザードマップの認識が向上するか、河川情報QRコードは活用できるか有効性を評価する

#### 検証方法：

対象者：宍粟市住民1,000世帯想定（無作為抽出）

#### アンケート概要

- 宍粟市より配布されたハザードマップを持っているか（マップ保有率）
- ごみの日カレンダーと一体となったハザードマップを持っているか
- 自治会の掲示板に掲載されているハザードマップを知っているか
- 河川情報QRコードを使って、水位情報を確認するか
- 捨てられないハザードマップとしてどのような取り組みが考えられるか 等

#### アウトプット：

ハザードマップの認識を向上させるための施策として、日常生活に密着し、捨てられないハザードマップの効果的な手法  
河川情報QRコードの有効性 等

## 社会実験 :まるごとまちごとハザードマップの設置 検証の手順

【目的】自治会と協力し、**効果的な設置場所や表示内容等を検討**した上で、過去の災害時の実績浸水深や避難場所への誘導を記載した標識を設置（まるごとまちごとハザードマップ）。アンケート等を通じて、**取り組みの有効性を検証**するとともに、地域の防災意識の向上にも繋がる、浸水による危険性を周知する施策として、より有効な取り組みとなるための、**標識の表示内容等を提案**

社会実験対象地区 宍粟市曲里地区、間賀地区

7月下旬

設置箇所、表示内容等について自治会、住民と協力し検討

7月下旬  
～8月下旬

標識の設置

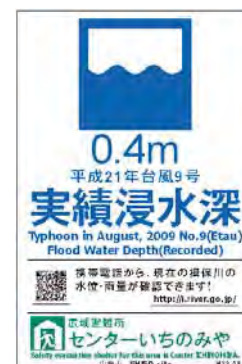
10月下旬  
～12月下旬

地域住民へのアンケートによりまるごとまちごとハザードマップおよび河川情報QRコードの効果を検証

**まるごとまちごとハザードマップ及び  
河川情報QRコードの有効性  
より有効な取り組みとなるための、標識の設置  
手法、標識の表示内容等の提案**

#### 【実施時の留意事項】

自治会、住民とまちを歩き設置場所を決定し、表示内容、素材について協議  
標識に河川情報QRコード(水位情報)を付ける



標識例

## 社会実験 :まるごとまちごとハザードマップの設置・検証

### 1)まるごとまちごとハザードマップおよび河川情報QRコードの効果を検証

#### 検証内容：

アンケートにより、まるごとまちごとハザードマップおよび現地で入手できる河川情報QRコード(水位情報)の有効性を把握する

#### 検証方法：

対象者 宍粟市曲里地区、閩賀地区全世帯

アンケート概要

・標識を目にする頻度

・標識により、浸水による危険性を感じることができるか

・標識に記載されている避難所等の情報は有効か(不足情報はないか)

・仮定として、外出先で大雨になったとき、河川情報QRコードを使って、水位情報を確認するか

・より有効な標識とするための表示内容等の工夫について 等

#### アウトプット：

・まるごとまちごとハザードマップおよび河川情報QRコードの有効性

・より有効な取り組みとなるための、標識の表示内容 等

(視認性向上のための反射塗料の使用、避難所の連絡先の表示 等)